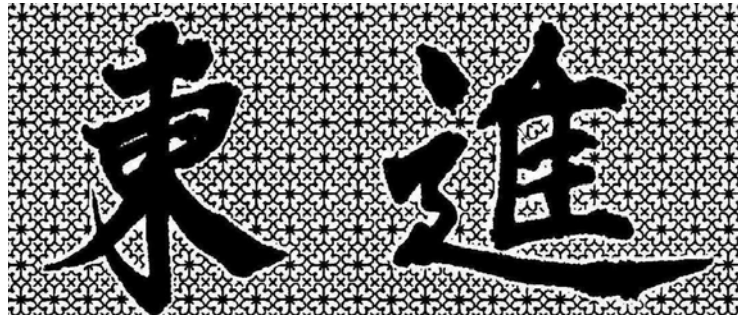


第35号

平成20年
4月20日

題字

植木 満
初代東進会会長



発行所

土浦一高東進会
〔茨城県立土浦一高
進修同窓会東京支部〕

発行人

東進会会長 大野 金一

事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階
宮崎法律事務所 TEL 03-3221-3711 FAX 03-3221-3713
ホームページ http://www.geocities.jp/t_toshinkai/



千鳥ヶ淵の桜 田安門付近

平成 20.4.2 撮影

今年の総会・懇親会は

6月21日(土)学士会館で

平成20年度東進会総会・懇親会は左記
日程で開催されます。

日時 6月21日(土)
受付 11時から

12時00分 母校吹奏楽部・応援指導部
の演奏・演技

12時40分 総会

13時10分 講演

講師 大野 金一 東進会会長
「裁判員制度始まる！司法の行方は」

13時40分 懇親会
(今年の出し物)

落語

金原亭 馬の助 師匠 (美浦村出身)



ベリーダンスで踊ろう

指導 林原 由佳 氏

(東大薬学部出身、弁護士・薬剤師)

15時30分 閉会(予定)

謳酔会の忘年会と新年会

会長代行 露木 修

第112回「謳酔会」の記 抜粋

日時 平成19年12月13日(木)
場所 新宿高野ビル6F
 nada万アプローズ

ジャズなの? いや違うね、明るくも格調高いピアノの演奏が店内に流れている。壁のどこどころにはシャンデリアとは言わないまでも、ほのかに一隅を照らすムードのある照明、席は籐椅子状の丸テーブル、ところどころにランタン。

他の客は若い恋人だろうか静かなお二人連れ、もしくは仲の良い若い女性2、3人の仲間達、そうそう、初老のご夫婦らしき方もおられる。

料理は黒い漆塗りの、重箱を平たく大きくしたような箱の中に、しゃれた器に小さく小さく、数種類盛られている、ままごとのよう。すべて、エレガントにてノーブル。しかし、

ご心配なく、我が謳酔会会員、上品さにかけては、その場の雰囲気高めこそすれ、損なうことは少しもない。

「 nada万アプローズ」の上品さを求めて、通常の例会では参加者は20名弱程度なのに、今回は30名の謳酔会紳士淑女が集まった。

楽しい音楽に身をゆだね、繊細な味の料理を楽しみ、友と語る、また楽しからずや。

我が謳酔会、しかし、ちよつとだけ違うところがある。それは、これまでの例会、沖繩、北海道、大阪、土佐の各郷土料理を楽しみながら、培ってきた酒飲力、飲み放題で鍛えてきた肝臓力。

他のお客さんは上品な雰囲気身を委ねながら、料理をおいしくいただくために、ワイン等を嗜むように飲む。我が謳酔会は、ほとんどの会員が、酒を飲むのを楽しむのに料理

をいただく。

ま、ということなのであるが、通常は世話役奉行がコントロールし、全体の流れを見て、ほどほどの酒量にする。

我が謳酔会はそのように機能しない、何故ならば、肝心の世話役奉行が呑み助だからなのである。あちこちから、テキキラだ、船中八策(日本酒)だ、ワインだとの声に、奉行さんニコニコ顔で、なんとなんとご自分で追加のワインを注文する。



nada万アプローズ

アホかねえ、ところで、2007年の漢字は「偽」だそうである。いろいろありましたからねえ、「ミートホープの牛ミンチ偽装」

「白い恋人」、「赤福」、そして「船場吉兆」お前もかとの感じ。我が方? そうです、今回の会費は大幅の追徴となりました。いやはや、ここにも偽ありか、嗚呼!!

- ◎料理 日本料理
- ◎お酒 ビール、日本酒、ワインほか
- ◎出席者 計30名

- 昭20卒1名、昭28卒1名、昭29卒2名、昭30卒1名、昭31卒16名、昭36卒3名、昭37卒1名、昭40卒2名、昭41卒3名、

第113回「謳酔会」の記 抜粋

日時 平成20年1月10日(木)
場所 新宿三井ビル54F
 新宿三井クラブ

♪♪ 年の初めの 例として 終なき世のめでたさを ああ謳酔の 旗立てて 祝う今日こそ 楽しけれ ♪♪

平成20年、東進会役員会・学年幹事会との合同新年会。

謳酔会として初めて酒を酌み交わしたのは平成10年9月4日、それから今年はずいぶん10年目の記念の年である。

小生の手帳には同年7月28日、玉淀にて東進会の暑気払との記載があり、そう、確か、その席上で謳酔会発足の提案がなされたこと記憶している。

小生は「なんでも言い屋」なので、会の趣旨には真つ先に賛成、しかし、会の名称については「謳酔会」に通じるからいかげなものかと発言したが、小生の意見など歯牙にも掛けられなかった、それが今は会長代行。

ともあれ、東進会役員・学年幹事会とは、表裏一体のものであり、今さら共催というのもおかしいが、まあ、その建前のお陰で、通常ご参加いただけない方々のご出席を賜ったことは非常に喜ばしいことである。

会場の新宿三井クラブは、昨年1月の当会100回記念祝賀会の開催された場所、今回の新年会も29年卒の池田三男さんのご紹介で実現したものであり同氏に心から感謝する次第である。

西新宿は高層ビルの街、さぞかしコンクリートの集積とお思いだろうが、この新宿三井ビルの周辺の歩道の花壇には各種の山野草他の植物が植えられており、イカリソウ、ユキノシタ、ヒガンバナ等々、平成8年当時その種類は70種にも及んでいた。ビルの管理者の方々の奥ゆかしさには、心から敬服したものであったが、それにしても、数える方はよっ

ほど暇だったのであろう。

会は大野東進会会長、宮崎幹事長の挨拶、小生の乾杯の音頭が始まる。

参加者21名、あちこちにたちまち小グループ、在学中はほとんど同様の生活を過ごしていた仲間達がその後それぞれ異なった経験を刻んできている、中には暮れから正月にかけて年賀状の手配にご心労なされた郵便局長さんもおられ話が弾む。

料理の味は素晴らしく、種類も量も大満足、飲み物類も、ビール、赤ワイン、白ワイン、ウイスキー、そして日本酒まで、「ちよつと待て飲み過ぎるなよ」と思うが、世話人が小生ではこれも目くそ鼻くその類か。

しかし、飲み過ぎるのは酔ではない、謳酔会にはいけない、季節をたのしみ、各地の郷土料理を愛で、世界の名だたる料理を味わう、それもリズムナブルな値段にてと、正月だけの似非信者、新年にあたり八百万の神々に誓ったことであつた。

- ◎料理 パーティ料理
- ◎お酒 ビール、ワイン、ウイスキー、日本酒
- ◎出席者 計21名

- 昭27卒1名、昭31卒9名、昭33卒1名、昭37卒1名、昭41卒3名、昭43卒5名、昭56卒1名、当日欠席で会費支払1名、

謳酔会の各月開催実績

- 第110回 平19・10・11(木) 参加者18名
 新宿・美々卯 うどんすき
- 第111回 平19・11・8(木) 参加者17名
 西新宿・祿保希 土佐料理
- 第112回、第113回 前記のとおり
- 第114回 平20・2・14(木) 参加者21名
 大塚・三浦屋 あんこう鍋
- 第115回 平20・3・13(木) 参加者18名
 国立・かゆや 和風料理

第3回土浦一高OBゴルフ大会

平成19年10月 137名が参加

高8回卒 中村信秀

土浦一高卒業の迎還暦者による土浦一高OBゴルフ会の第3回ゴルフコンペが平成19年10月19日(金)にザ・インペリアルGCに於いて盛大に催された。今回参加者は昭和23年中学48回卒の松尾幸麿氏を筆頭に第1回高卒の飯村定雄、砂山嘉幸、比企光雄氏以下41年18回卒までの137名であった。当日雨天との天気予報にもかかわらず、一日中晴天に恵まれ、同窓の好もあって盛大な中に和気藹々のとても和やかな会であった。



優勝 山内忠夫

競技は例年通り新ペリアで行われ、競技後のパーティで成績発表、表彰式と懇談会が行われた。成績は団体優勝35年卒グループで、優勝者31年卒の山内忠夫氏、準優勝30年卒

の須田二郎氏、3位28年卒の戸井常郎氏であった。またベストスコアは37年卒の高田弘氏でスコア75(36, 39)であった。その他の入賞は5飛びの27名、及びBB、ドラコン、ニヤピン、加えてワイン、日本酒のくじ引き賞等の余興も加わり、さらには全員への参加賞と盛りだくさんの授賞パーティであった。今回は協賛として眼科医海老原雄一氏、株式会社田島屋田嶋為太郎氏、東進会会長大野金一氏、有限会社ナブト中村信秀氏、菊田ゴルフショップ、ザ・インペリアルGCより賞品多数が提供された。

ちなみに第1回の参加者は64名、第2回は103名で年々盛大になっている。今回は当初のエントリーは160名であったが天気予報が雨天であったため当日欠場者が続出し、急遽のメンバー組み換え等担当幹事が四苦八苦し、ゴルフ場にも大変なご協力いただき事なきを得た。このような中で137名の参加は真に殊勝といえる。世話人として各年次ごとに担当幹事をお願いし、準備、通知やら進行のご足労を快くお引き受け頂いている。この会はこれまで規約よりも先ず幅広く参加していただくことを優先することとしていたが、懇談会にて、今後の運営についての話し合いをし、会の規約をつくることとなった。さらに運営の要である会長については満場一致を持って平成20年も引き続き田嶋為太郎氏にご足労を願うこととなった。

以上本会の目的である一高シニアOBの懇親は、参加の皆様、会長及び幹事方々のご好意とご協力により滞りなく、十分達成されたようです。次回第4回も新たに42年卒OBを加え来年10月吉日にさらに盛大に催すことが全会一致で決まりました。引き続き東進会の皆様にも奮っての御参加を期待します。なお、問合せは本会の幹事であります左記にお願いいたします。

佐々木弘司(047-186-3220)
中村 信秀(042-755-3783)

KY

半了のささやき(第5回)

高山寺 半了

半了のささやきも寛大で賢明な皆様のお陰で3年目を迎えることが出来ました。有難う御座います。2年問題名は「カタカナ」で来ました。3年目からは「英語」に模様替えしてみました。

第一弾は「KY」です。KYから皆さんは何を連想されましたか? 英語でKYと言え、米国ケンタッキー州(Kentucky)の略字と思つた貴方は相当な米国通ですよ。京セラ(NTTドコモの端末製造会社識別コード: KY)を連想した貴方は重度のオタクですね。「朝日珊瑚捏造事件」を思い浮かべた貴方は、記憶力抜群でしかも社会正義派。今から20年前の平成元年4月29日の朝日新聞夕刊が大きな写真入でスクープした、沖縄の珊瑚礁に刻まれた「KY」。後で朝日記者の捏造と判明し世間を騒がせましたね。そうなんです、マスコミの捏造事件は前回書いた「あるある大事典」よりはるか前からあることなんですよ。△

「分った分った半了の博識? は... 一体何を言いたいのか?」MK5(後述)の声が聞こえそうです。「KY」は実は英語ではない、れっきとした日本語ですよ。そうか! それなら「危険予知」だぞ。「危険予知訓練: KYT」を思い浮かべた貴方は、流石日本の高度成長を担った企業戦士。生産現場での事故撲滅活動ですね。「ヒヤリハット」(ヒヤリとしたりハットした事例から大きな事故を芽のうちに潰す)も懐かしく思い出されましたか? そして今も脈々と生産現場で受け継がれている日本発の「危険予知活動: KYK」。これがもし中国でも定着していたら、ひよっとしたら「毒入り餃子事件」は未然に防げたかもしれませんね。

処でやつと本題です。「KY=空気を読めない」。一昨年辺りから若者たちの間ではやり始めた略語。昨年、安倍前首相の間の悪い辞任劇から「ミ

スターKY」と揶揄され流行語になった。気配り、わきまえ、察しなど対人関係に配慮する事が求められるが、この配慮が出来ない様子や人の事をKYと言って非難する。軽いノリの背景に、異端や異質を排除するいじめ感覚も見え隠れする所謂ギョル文字。その他にも、携帯メールに多用される暗号的要素の多いギョル文字。東進会会員諸氏はどの位ご存知でしょうか? 「SKN」は「そんなの関係ねえ!」海パン一丁のお笑い芸人小島よしおのギャグで有名なのでご存知でしょう。では「HK」、「AY」、「MK5」、「YM」、「WK」は如何でしょうか?

今年元旦の朝日新聞記事で中村真理子氏は言う。▼...もともと、他者の目を強く意識して、協調性を求めるのが日本人の国民性といわれた。「暗黙の了解」「以心伝心」「言わぬが花」など類語は多い。・中略: 山本七平「空気」の研究(77年)は、戦艦大和の出撃を挙行政させたのは空気だった、と例に挙げ、「空気」とはまことに大きな絶対権を持った妖怪」と書く。・中略: 日本の社会に相対的な見方はなく、その場その場で違う対象への「絶対化」に向う、という山本の指摘は、現代にもあてはまるだろう。・中略: 空気を読むことは必要だが、空気にあわせる必要はない。なのに空気を読むことが「多数派に合わせる」ことになっている。趣味だつて外したくないから... ▲ 長い引用になってしまいました。

そこで今回のささやきは「和して同せず」。ご存知論語の一節。「君子は和して同せず、小人は同して和せず」。「和」とは自分の主体性を堅持しながら他と協調する事、「同」とは付和雷同の意味。法や道理に合わない事まで同しては、いつの間にか「朱に交われれば赤く」なってしまう。昨今の民主党を見ていると「同せず」ふりして本音は「同して和せず」でなければ良いのだが...。そう言えば党首のお名前も「小人」と一字違いですね。

最後にギョル語は幾つ分かりましたか? 「HK」話、変わるけど「AY」頭が弱い、「MK5」マジで切れる5秒前、「YM」ヤル気満々、「WK」しらける「White Kick」幾つ分かりましたか? エッ! 「馬鹿にするな! MK5だぞ!」おお怖(笑)。

植木満前会長を偲ぶ

東進会会長 大野 金一

平成19年10月30日奥さんからのお電話で、植木満前会長ご逝去の第一報を受けました。それまでは、杖に頼りながらもお元気でおられると聞いていたので、一瞬驚きましたが、最近に入退院を繰り返して体力も落ちておられたということでした。



植木 満 前会長
平成 19. 10. 29 ご逝去

ただ、直前の満92歳の誕生日にお子さんやお孫さんが集まって誕生会を開かれた時は、大変ご満悦で、手拍子で土浦一高校歌を歌われたということでした。

それほど母校を愛し、同窓会活動に力を入られてこられました。

植木氏は、中央大法学科をご卒業後入隊して満州に渡り、日本軍とソ連軍が激突したノモンハン事変に従軍、その後陸軍少尉、中尉に任官、昭和16年太平洋戦争勃発後一時召集解除になり、満州で仕事に就いたが、昭和20年1月再び召集され中隊長として牡丹江、北支を転戦され、戦後昭和21年8月に復員されました。

戦後は、三田簡易保険局、次いで虎ノ門の電気通信局内に売店を開かれた後、昭和27年現在地にそば処「満るまん」を開業し、その後昭和49年現在のビルに建て替えられました。

た。その間昭和46年港区議に当選され、平成15年4月88歳で退任するまで8期32年の長きに渡り区議を勤められ、その間昭和60年から2年間区議会議長に就任し、平成15年11月には旭日小綬章を受章されました。

植木氏は、進修同窓会の東京支部の設立に尽力され、昭和63年近隣3県を加えた新東京支部(現東進会)に組織替えした時から支部長(東進会会長)を務めて来られました。

数年前、東京支部創立50周年は正式に何時の時点なのか、ご自宅を訪ねてお聞きしたところ、前記のとおり昭和27年に現在地にそば処を開業された後の同28年頃、その店で設立準備会を何度か開催されたことまでは確認できましたが、正式な時期は、何の記録もないということ、特定できませんでした。

それほど土浦一中(高)同窓会には愛着を持たれ、誰にでも母校のことを誇らしげに話し、同窓会のことになると目が輝いてくる、というのが奥さんのこれまた口癖でした。

植木氏は、平成16年度まで東進会会長を務められ、当時もお元気でしたが、杖をついて総会に出るようでは、という男の美学で、任期中で退任されました。

大塚の「玉淀」が営業していた当時は、六本木から大塚まで遠路東進会の役員会、学年幹事会等に出席され、皆さんの熱心な活動への謝礼と言われて金一封を置いて行かれました。いろいろと気配りをされておられました。

毎年の総会の会場も、植木氏のご紹介で特別なパーティ会場を設定され、他のホテルでは断られる母校ブラスバンドの演奏も目一杯のボリュームで演奏させていただきました。その母校の吹奏楽部、応援指導部、弦楽部への謝礼も、旅費、輸送費に多額の費用が会の負担になるので、別途会長ご自身で負担されていました。

前会長の母校や同窓会に対する愛着の精神を我々も引き継いでいくことを改めてお誓いして哀悼の言葉といたします。(合掌)

友よ又会う日まで

高9回卒 服部 彦雄

東進会の友2人を昨年始めと末に見送った。2人とも9回卒、筑波出身、東進会の常連だった。小林忠吉君(平成19年1月31日永眠)と片岡宏之君(平成19年11月24日永眠)。片岡君は東進会の幹事だった。

2人とは、東進会は元より、9回卒同窓会九桜会ゴルフコンペ(現在年3回)、九段会館ビール会(毎年8月末)と長年旧交を温めてきた。これからは、仕事のこととは考えず語りあえる日が来ていたのに。何とも言い様のないむなしさが心に響く。



小林君(写真・左)の知らせには自分の耳を疑った。驚きはひとしおだった。一昨年の9月明大マンドリンクラブ土浦公演(実質彼が仕切っていて、私は写真をとるまわりのみ)では大変元気で大きなおなかで後輩に指示していた。亡くなるなど到底考えられなかった。肺炎だったとか。一高、明大と柔道で鍛えた体。イトヨーカ堂では企画、各支店の支店長、又切込み隊長として活躍。定年退職の日、社長直々に、社長のポケットマネーよりご苦労さまでしたと数100万円の褒賞金を貰ったのも彼の自慢の一つだった。仕事の合間を縫って柔道部後輩の指導にも当たっていた。私の弟も一高柔道部の時に指導してもらった1人である。

片岡君(写真・下)は、御存知の通り昭和31年一高が甲子園出場を逸した時のメンバー、次の年、安藤君達が甲子園に出場する足掛かりを作った1人でもあった。今の一高野球部員は、楽しんでいますがほとんどでもない。勝つのに楽しみはない。勝つ後に楽しみがあるのだと怒っていた。社会人野球日鉦で活躍、その後アフリカのコンゴで鉦山開発に従事、帰国後も関連会社の勤務担当部長、取締役、参与と敏腕を振るっていた。彼が富士電子工業(株)の取締役総務部長の時、始まった同工業(株)との映像関係の取引きは、その後、彼が関連他社へ移っても続いた。



ある日、彼が食べさせたい鮎がある、磯原のみかく鮎(案内してくれ)馳走になった。ねたが普通の3、4倍の鮎、驚いた。阿部尚光君、貝塚光雄君と貝塚夫人、5人で平潟の鮎鮎を、うまかった。塩谷岬まで足を伸ばした。片岡君の十八番「みだれ髪」の碑のあるところ、彼のみだれ髪は、美空ひばりもびびりするであろうと思われるほど上手だった。

片岡君65歳の東進会の折、前立腺癌であることを、彼らしく几帳面に整理した検査結果の数値を示しながら話してくれた。平成13年頃、自覚症状があり、病院の検査で投薬と放射線治療で決まったとのこと。65歳まで生きてきたのだから悔いはない。後はおまけで生きる。酒ものむし、ゴルフもする。子供達を一人前にし、筑波の土地、家屋を整理し、来たるべき日に備えているのだ。その冷静さと、覚悟に感服した。私には到底無理だろう。おたおたすると思われる。平成18年の東進会、大部痩せて顔色も悪くなっていた。二次会にご免と言って帰った。それが最後になってしまった。この年の暮の同窓会、平成19年4月の卒業50周年記念祝賀会と同時の同窓会は欠席、鈴木利憲君を通して記念の写真を送る。7月21日付けで彼からの暑中御見舞いのハガキが届いた。「同期会の幹事ご苦労様です。当方リハビリ頑張っております。闘病で辛いのに気遣ってくれる彼の律儀さ、弱々しくバランスのない字と書き方、いやな予感がした。鈴木君にお見舞いのことを聞いたなら一寸まっつと言おうのの様子を見ることにし、10月18日、少しでも元気に筑波の栗を送ったら、奥様より9月14日に入院点滴となりました。食べてくれるかどうか、作って持っていくてみますが」との電話。あのハガキを思い出した。11月24日永眠したとの知らせ。小林君の時とは違い驚きはしなかった。生あるものかならず死すとは言え2人とも早すぎる。悲しく淋しい。おそかれ早かれ私もそちらへおじやます。それまで待っていてください。そちらで又会います。やすらかに。

東進土中45回同窓会の軌跡

東進土中45回同窓会会長 渡邊光夫

昭和16年4月桜花爛漫として咲き誇る憧れの茨城県立土浦中学校(現・土浦第一高等学校)の校門を潜った紅顔の美少年第45回生212名はその年12月8日に勃発した太平洋戦争の影響で農繁期は出征兵士の家の手伝い、18年の厳寒には農家に分宿して食料増産のため筑波風の寒風吹き荒ぶ田圃の土地改良作業に従事、19年7月からは阿見町にあった第一海軍航空廠の工具宿舎に入れられ群がる蚤や南京虫に悩まされ、また馬鈴薯と麦に米チヨビチヨビ入れた馬麦飯、さつま芋を主体にした諸麦飯などの粗食に耐えながら昼はゼロ戦の修理作業に汗を流し、夜は眠い目を擦りながら勉強に励んだのである。

この間予科練・陸士・海兵など軍隊へ入隊者を見送り、我々は4年修了で昭和20年3月繰上卒業させられ8月15日終戦を迎えたのであった。卒業後の昭和23年には同窓会を結成、「土中45回同窓会」として斉藤高明君が基礎を築き長南武夫君を経て平成6年3代目会長に栗栖三男君が就任し活動を続けている。

そしてその弟分として平成4年10月東京・神奈川・千葉・埼玉・静岡・愛知在住の45回生39名で「東進土中45回同窓会」を結成し毎年総会・懇親会を開催している。

その内規の慶弔規定に「会員逝去の場合は弔電・供花・追悼文を捧げる」ことを定めたが現在までに11名の会員が逝去されたのでその都度状況に応じてこの内規を適用してお送り申し上げている。ここに改めて幽明境を異にした諸兄のご冥福を祈念する。

尚平成19年9月19日逝去した貝塚平次郎兄(慶弔基金納入会員)の際は左記の通り行った。

(弔電)昭和16年茨城県立土浦中学校に共に入学した貝塚兄(逝去の報に接し悲しきこと限りなし、心よりご冥福を祈る。君が憂いに我は泣きわが喜びに君は舞った我々一同君を心の中に生かし乍ら長生きせんことを誓う)。

土浦第一高等学校東進会副会長
東進土中45回同窓会会長 渡邊光夫

(供花は左記連名で1基を捧げた)



土浦第一高等学校東進同窓会
茨城県立土浦中学45回同窓会

(追悼文)貝塚平次郎兄(逝去を悼む)

貝塚平次郎兄(逝去の報に接し悲しきこと限りありません。ここに平次郎兄の霊前に友人を代表して哀悼の意を捧げます。あたへられしすぐせなりけり玉の緒の

長き短きは宿世せなりけり(古歌)

とは申せ兄は貝塚一家の心の中で、また我々の心の中で生き続けます。されば残されし我々一同兄を心の中に生かし続けながら長生きせんことをご霊前に誓う(後略……)

平成19年9月20日 友人代表渡邊光夫
追記 お通夜・告別式に大塚保と渡邊参列。

「特別実施記録抜粋」

1 平成7年4月10日 第一海軍航空廠職員学徒の集いと記念植樹138名参加 報道4社

2 平成7年8月15日

戦後50年・卒業50周年記念誌「戦いのなかの青春」190頁構成。茨城県立土浦中学校・土浦高等女学校動員学徒の集い実行委員会出版。茨城県全市町村、国会図書館、大英図書館等関係先へ寄贈。新聞報道5社。
出版記念祝賀会、9月10日。新聞報道2社。

3 平成13年11月7日、8日
卒業56年後に挙行了した修学旅行。恩師 和田隆先生の特別講演は「日本の将来を憂う」

新聞報道累計7社・テレビ報道1社。

4 平成14年7月5日 45回生の卒業アルバム写真集、卒業56年後に発行す。

5 自平成15年〜至20年の間の抜粋
*土浦市立博物館企画「土浦中学校とその時代」に資料多数提供、「広報つちうら」裏表紙全面に卒業写真と45回生の記事が掲載された。

*記念植樹の標柱真壁石で再建。

*傘寿を迎えた我々は、幽明境を異にした級友を心の中に生かしながら「老當益壯」で八十路を生きようと思っている。

以上

第13回生のクラス会「勝牛会」の紹介

― 65歳、古希への折り返しの

筑波山神社へのお礼参り ―

昭和36年卒3Fのクラス会「勝牛会」の活動を「東進会」機関紙で紹介したいとお話に、世話役としては、人様にお話するようなものでもなくお断りするようにと言ったのですが、既に受けてしまったとのこと。そこで、ご参考にもならないでしょうが、紹介させて頂く次第です。

「勝牛会」の名称は、恩師・滝田勝先生のお名前から1文字、そして体育祭・仮装大会で、クラスが良く結束して優勝した演目「闘牛士」から「勝牛会」と命名。われらの生年干支は、午・未のはずだが…。最近になって、「牛」については、先生の教え「人生、牛歩の如く」の説も飛び出しましたが、前者の説が大勢を占めています。なお、「勝」の字には、卒業後の人生において、「勝つ」「克つ」の意が込められています。

「勝牛会」の懇親会は、卒業後は2、3年に1回程度でしたが、今は亡き関山三郎さんが世話役を勤めだしてからは、お陰で途切れることなく毎年開催が続いてきました。彼が亡くなったから消滅では余りにも寂しいと小生が2代目を買って出て、今日に至っています。

大半が定年を迎えだした2004年の新年会で、「ゴルフをやるう」、筑波山麓に住む稲葉さんの農地500坪の提供を受け、「農園活動もやるう」との提案から、今は半数近くが集まる新年会、年に3、4回・土浦周辺でのゴルフ会、3月から9月にかけて月1回程度の農園活動と、そしてその時々提案から小旅行を交える形になっています。

ただ案内が全員に行き届かず、まして結果報告がその時々参加者中心になってしまうのですが、パソコンに通じた田中丸さんが05

年にホームページを立ち上げてくれ、メンバーの誰もが閲覧できるようになりました。もともとインターネットの性格上、メンバー以外の方々の目にも広く触れるように…。

「勝牛会」のメンバーは54名ですが、既に5名が鬼籍入り。そこで、5年前の還暦クラス会は、学生時代に毎日見上げた筑波山に初の1泊旅行、筑波山神社にお参りし健康を祈願しました。

そして、07年は古希への折り返しの年。新年会の席上、ここまで無事に來られたお礼参りを古希へ更に弾みをつけようとの申し合わせから、10月に筑波山神社へ過去最多の24名が集い、ご祈禱をして、お祓いを受け、お札を授かってきました。(写真)



夜の懇親の部も大いに盛り上がったのは言うまでもありません。もつとも翌日の懇親ゴルフ会では神様のご加護を受けたもの、見放

されたものと様々でしたが…。クラス会は、卒業以来の何10年の歳月を忘れて旧交を温められる貴重な機会。会えば学生時代以上に話が弾んでいます。最近の話題は、いつの間にか健康と孫自慢が中心に…。これはやむを得ませんね。

今後も多くメンバーが参加できる「勝牛会」であるように、声を掛け続け、古希から喜寿、米寿、そして白寿へとお互いに元気な顔を見せ合いたいものです。(「勝牛会」世話人 高橋)

(ホームページは「勝牛会」で検索し、ご笑覧ください。)

メタボおじさんのネパール・トレッキング奮闘記(第3回) おじさん・おばさんの為の トレッキング入門講座

昭41年卒 高山 了

第1回、第2回のネパール・トレッキング奮闘記は如何でしたか？素晴らしいネパールの自然や生活、そしてメタボおじさんでも楽しめるトレッキングに興味を持たれた方がおられたら何より嬉しい限りです。いよいよ今回で最終回になりました。最終回では、「私でも行けるかな？」「トレッキングの具体的な内容は？」「トレッキングの具体的な内容は？」「トレッキングの具体的な内容は？」と関心を示された皆様に、少しでもお役に立てばと思い、「メタボおじさんのトレッキング入門講座」です。但し、あくまでも素人の1回だけの経験談で、専門的にはおかしな点もありますがご了承下さい。



格好だけは一見それらしい
トレッキング3日目。まだまだ余裕の私。石組の休憩壇上で遅れてくる人を見張っている先導役のシェルパ。彼の歩くピッチはゆっくりで一定。後に付いて先頭を歩くと疲れな。

まずは、59歳の登山経験ゼロのメタボおじさんが、ネパールで突然トレッキングと聞いて心配した事から始めましょう。その1「登山未経験と体力」。その2「装備と費用」。その3「高山病」。その解決策はたった三つ。「専門家に聞く」「基本を学び忠実に実行」「単独行せず実績のあるツアーに参加」です。

まず我家の家系病(笑)「高山病」対策です。前回登場した親戚の村山裕美さん(田部井淳子さんの長男と結婚)が「大丈夫よ。今度は富士山と



トレッキングは生活道を歩く
現地の方が整備した石畳の道を歩く。重い荷物を頭に担いで通る現地の人をナマステ(こんにちわ)と言って脇に避けて優先するのもエチケット。

同じ3km程度だから。それに高度順化できるゆつたり計画だし」の一声で解消。そう言えば富士

山はお年寄りも子供も登っているよなどお気軽に納得。とは言え、後述する登山の基本に忠実に歩き、遅れても決して走ったりせず、ストレッチも朝晩きちんとしたのが効果絶大。ベテランや若いメンバーが途中で、吐き気や頭痛に会いました。私は終始元気そのもの。毎晩しっかり現地の焼酎ロクシーも楽しみました。但し、今回のアンナプルナ山系の最高地点は3210mのブーンヒル4000mクラス(エベレスト山系等)になるとそうは行かないそうです。注意していてもかなりの人が大なり小なり高山病にかかるようで、ヘリコプターで下山したグループもあるようです。

さーそれではたった三つの解決策を具体的に紹介しましょう。第1番目は「専門家に聞く」。専門家と言われても知らないし・と悩む必要はありません。ちよつと回りを見ると必ず山好きな知人が居るはず。昨今は山歩きが幅広い層特に中高年にとってはブームになっています。私の場合は職場に毎週末山登りに行く先輩がいました。早速飲屋で一献傾けながら恐る恐る教えるを請いました。「あの12ヶ月先に突然トレッキングすることになったんですが、準備と用具はどうしたら良いんでしょうか？」「エッ！ネパール。お前が！俺まだ行った事ないよ。良いな」山で鍛えたスリムな先輩は、ちよつと走るとゼイゼイ、体力ゼロ、お腹ポックリの後輩を、羨ましそうに見つつ(多分本音はこの野郎、早すぎるぜ)丁寧

えてくれました。勿論私もそつ無く、まーまーも一杯なんて言いながら、必死にアドバイスをメモしました。「まず用具は安物買いたくない事。専門店で自分の身体と目的に合ったものを選ぶ。特にシューズは絶対妥協せず足にフィットするものを試し履きし実際に歩いて確認。3万円前後。次にザックは背負うものではなく着る物。良いザックは背負っている感覚が無く身体と一体になり重量を感じない。日程にあった大きさ(容量は何リットルと言うのも初めて知ったで、必ず背負って身体にフィットするものを選ぶ。2万円前後は必要。最後は雨具。素材は高いが絶対にゴアテックス。防水透湿性が抜群。2万円前後。ウェア、ストック等々あれこれ合わせて10万円は必要。」「ひやーそんなに掛かるの？」「くれぐれも安物店でまがい物を買わない事。山中で足に豆でも出来たら悲劇だぞ。」「分かりました。処で体力や準備の方は？」「単独じゃないよな。そうー西遊旅行のツアーで行くのか。何日間？2週間。それなら心配要らないよ。ちゃんと初心者でも安心な日程組んでいるよ。まー念の為に、専門店です。歩きの基本(そんなのあるんですか)教えて貰い、できれば1度実地訓練を受けておくと万全だね」「たった1回の訓練で良いの？」「基本だけきちんと身に着ければ良いよ。歩き方とか呼吸法とか。こうやってね。」「実はこのアドバイスは、実に具体的に適切な事をアンナプルナの初日で実感しました。



道端でお土産物を即席店開き
トレッキング客向け土産屋。写真の様な露天はチベット人難民が多く、店を構えているのはネパール人が多い。ヤクの毛等の色彩豊かな織物が人気。

さて、次は専門店。教えてもらった池袋や新宿



登山用品専門店のシューズ売り場
専門店には必ず山道想定のスロープがあります。靴の試着では店内フロアだけでなく、登り下り、前向き後向き横向きと何回も歩いてフィット感を確認する。

の有名専門店に行く。まず靴からだだがこれがなかなか合うものが無い。専門店の集中している神田でも数店探す。しかし有名スポーツ店でも秋からはスキー関連コーナーが広がり登山コーナーは縮小。お店の人に聞いても人によつて言う事が違う。7〜8店で50足以上試着したがどうも足にフィットするシューズが無い。諦めて妥協しようかと思いついた時に、ふと地元の土浦に登山専門店(ナ

ムチエバザール、本店水戸)があることに気付いた。行ってみると、これが何と実に品揃え豊富。スタッフの対応も丁寧。事情を話すと幾つかシューズを選んでくれる。「スロープ」で履いてみて、登り下りでもフィットするミドルカットのシューズにやっとならぬ。これだけ粘って巡り合ったシューズとそれに合ったソックスの効果は絶大。2週間の初トレッキングでも豆どころか皮すれも全く無く快適に過ごせました。荷物はシェルパ隊が運んでくれるので、ザックは1日分の身の回り品が入れば充分なので、小型のバネルローディングタイプの35L。最近のザックはどれも人間工学の最先端技術満載、機能性は多様で迷う。水は立止まらなくて吞まず、適宜補給が良いと言われたので、ポリエチ製の水袋を内蔵し歩きながら水が飲めるものにした。レインウェアは勿論ゴアテックス素材。履きやすく脱ぎやすく、畳むと小さな袋に収まる。多少値が張ったが、ゴルフでもバイクや自転車でも活用でき実にお得な買物であった。インナーウェアは吸湿速乾性で伸縮性があり動きやすいもの、アウターウェアは高い防風性は勿論、軽

量で耐久性があるもの等、お店の人と初心者に
必須な物を適切な価格でと交渉しつづ決定。

第2番目は「基本を学び忠実に実行」。私は土
浦のお店で、経験豊富なガイドさんによる店内
無料登山講座に参加。登りでバテない歩き方、
下りで膝が痛まない足運び、水や休憩の取り方
等、2時間マンツーマンで教えて頂き大助かりで
した。山歩きの基本は三つ。①足先を広げ八の字
にして②小股で一定のピッチでリズムカールにゆっ
くり歩く。③腹式呼吸でまずゆっくり息を吐きき
る。そうすると自然に息を吸える。決して先に早
く息を吸ってはいけない。更に注意事項が二つ。

①初めと終わりに必ずストレッチをする②休憩は
50分(最初は30分)歩き5分立ったまま小休止
これだけでした。本当?これだけで良いの?と言
う感じでした。これが絶大な効果を挙げて「目か
ら鱗」を実感したのは、ネパール出発の僅か10日
前。ナムチエバザール土浦店が月1回開いている、
筑波山無料登山教室に参加。基本に忠実に「こん
なにゆっくりで良いのかなと思いつつ、長尾店長の
後を着いて行ったら60分ちよつとで何と頂上。疲
れもなく息も切れずびびり。何時も筑波山は
最初の10分でハハハ肩で息をして水をがぶ飲み
していたのが嘘のようでした。更に驚いたのは、翌



ナムチエバザール筑波山登山教室
真壁のユースホステル跡から出発。
林の中を基本に忠実に長尾土浦店
長の後を着いて行く。60分程で息も
切れず気がつくともう筑波山頂上で
した。今までは休み休みで90分。

日も翌々日も全く脚の筋肉が痛くならず何と
も無かつた事です。最初と最後の5分程度のス
トレッチングの威力を実感しました。これですつか
り自信が付ききました。
さて最後の第3番目「単独行せず実績のある

ツアーに参加」。今回はご縁があつて西遊旅行の
「アンナプルナ・ダウラギリ展望トレッキング13日
間」に参加。初心者の中でも心配なく、事前説



初心者は専門旅行社のツアーで
今回の最高地点プーンヒル 3210mで日
の出を浴びて。私はペアでなく唯一の放
し飼いの男の為かベテラン女性が親切に
基本を教えてくれました。感謝、感謝。

明や現地でのコース設定(初めゆっくり短時間。
段々長時間等)や高度順化等良く考慮されてい
ました。そして何よりネパール語ベラベラの同行ガ
イド宮加奈子さんは心強い。山奥の村落で通行
税?を徴発する武装勢力マオイスト(ネパール共
産党毛沢東主義派)との交渉はお見事。ネパール
各地の経験豊富なシェルパ長、運搬部隊、キッチン
部隊総勢10名もの現地スタッフの充実さは最高
でした。それにベテラン女性登山家の皆さんには、
歩き方や呼吸法などの基本を、親切に教えて頂
きました(詳細は第1回に記載)。クラブツーリズ
ムやJTB等の日本からのツアー団体も多く会
いましたが、何れも中高年女性が多いのが共通点。
欧米のトレッカーは若い男女のグループや、数人
でガイド付きが多い。最近では韓国からも急増と
か。そう言えば山奥でもハングル語や中国語のお
菓子のゴミが多かつた。

トレッキングの楽しみは何と言つても食事。朝
はキッチン部隊が早起きして用意してくれたナン
とティーが美味しい。歩き疲れたお昼はインスタ
ントラーメンの何で美味しい事。そして夜は
ネパール料理の定番ダルバートや地元ビールや
焼酎。余裕が出てくるともう一つの楽しみが加
わる。歩きながらのお喋り。各社のツアーに参加
している女性陣の情報量の多さに感心。何々旅
行社はビフテキが出るとか、出身県の政治・経



キッチン部隊の女性
朝は夜明け前から、昼は朝食を片付け
た後、我々を追い越し先に行つて昼食を
準備。夜も同様。本当に良く働いている
姿には感激。日本と比べ賞金は超安い
が現地では貴重な現金収入源。

済・観光情報もばつちり。お陰様で、鳥取や大山
関連は相当な耳年増になりました。泊まりは
村々のロッジ。丸太組の簡易な小屋ですがこれが
大変便利。毛布付ベッドがありツアー会社用意
のシエラフで熟睡が出来る。大きい村ではホテルと
称していますが電気が点く所も在ります。トイレ
が心配な方も多いと思いますが心配無用。立派
な水洗トイレが各所に完備。但し山水を貯めた
バケツの水で自ら流す手動式(笑)。水は大変貴
重品でお風呂は勿論ありません。タオルで顔や
身体を拭くだけ。太陽光がきつつく埃も多いので、
サンガラス、リップクリームとマスクは必需品。



以上、初心者向けのネパール・トレッキング講
座でした。3回に亘るご愛読に感謝致します。参
考にした本は僅か2冊。地球丸社「はじめての山
登り」とダイヤモンド社「地球の歩き方ネパール」。
初心者に分かり易い本ですが、本よりも実際に
聞いて、教室に参加して経験者に教えて頂いたの
が何より役に立ちました。

最後に脱稿直前の3月に、中国チベット自治
区ラサで僧侶ら市民の反中デモが激化。中国当
局の武装警察隊の鎮圧で死者も発生し各地に
拡大中。貧しいネパールの中で更に貧しい層がチ
ベット難民であった。これ以上チベット難民が増え
ない事を切に願う。昨年末、ネパール暫定議会は
約240年続いた王制の廃止を盛込んだ暫定憲法
改正案を可決した。今年4月実施予定の選挙で
創設する制憲議会で共和制への移行が正式に決
まる。しかしマオイスト(毛派)が要求する急性な
王制廃止の決定には反発もくすぶっている。一方
お隣のブータンでは「国民総幸福」を提唱して国
際的に話題を集めたワンチェク国王(51)が昨年
末退位。長男の皇太子(26)に王位を譲り、国民
投票を通じて民主制へと移行する。「一心万宝。
賢君の信念を継ぎ、民一心、世界の宝となる民
主制」を目指す。山岳国家それぞれに新時代を
迎えつつある。民族自治と平和で心豊かな生活維
持を切に願ひ、3回に亘った連載を終わります。



尚、53年5月29日、エベレストに人類初登
頂に成功したエドモンド・ヒラリーさんが、
本年1月11日に88歳で亡くなりました。58年
の南極点到達等冒険家としての一面は有名です。
しかし彼は61年シェルパ族と共に自らの手で最初
の学校を建て、63年には「ヒマラヤ基金」を創設。
これまでに学校63校、10ヶ所を超える病院や診
療所、空港、水道設備を整えたそうです。ヒマラ
ヤを訪れた何百もの登山家の中で、数十年にわ
つたつ個人として、ヒマラヤの人々の為に身を投じ
たのはヒラリー氏1人だけだそうです。合掌。

主要大学合格状況の過年度比較

入試年度	平成16年		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年	
	合格者	新卒	合格者	新卒	合格者	新卒	合格者	新卒	合格者	新卒
北海道大	6	1	1	1	8	4	4	1	4	3
東北大	23	13	29	21	22	16	19	14	21	15
茨城大	9	8	11	8	9	9	11	10	9	7
筑波大	49	37	46	38	39	29	51	38	49	37
千葉大	10	7	10	5	17	9	11	6	7	7
お茶の水女子	4	3	5	2	6	4	6	5	5	5
東京大	29	20	26	15	21	15	28	19	26	15
東京外語大	3	2	4	3	4	4	3	3	3	2
東工大	15	7	7	6	5	3	8	4	10	4
一橋大	9	6	11	7	4	2	6	3	3	1
横浜国立	3	3	9	6			4	1	4	3
京都大	3	1	7	6	4	1	3		7	7
大阪大	2	1	2	1	7	4	1	1	2	1
名古屋大			1		1	1	2	1	1	1
九州大							2			
その他	34	13	31	17	30	14	31	18	32	20
国立大計	199	122	199	135	177	115	186	123	179	125
茨城県立医療	2	2	2	2			1		1	1
首都大東京	3		6	6	5	4	3	2	3	3
その他	9	6	6	3	7	2	3	2	7	3
公立大計	14	8	14	11	12	6	7	4	11	7
国公立大計	213	130	213	146	189	121	193	127	190	132
防衛医科	1	1	1							
その他	3						3	2	4	2
大学校計	4	1	1				3	2	4	2
国公立医学科計	18	5	16	11	21	10	13	8	12	7
青山学院大	12	9	16	10	12	10	21	18	17	11
学習院大	11	8	17	10	8	7	8	6	12	6
慶応大	76	33	61	31	53	26	68	40	52	22
国際基督教大	2	2	3	2	4	1	7	6	3	3
上智大	37	16	15	5	17	12	30	18	17	11
中央大	36	11	65	31	39	23	32	13	27	13
津田塾大	10	8	9	4	4	4	15	13	9	5
東京女子大	11	7	14	9	7	6	15	10	11	6
東京理科大	95	40	93	45	106	48	110	39	111	62
日本女子大	11	4	13	8	5	4	11	9	18	13
法政大	20	11	23	6	21	13	18	9	18	10
明治大	49	20	71	33	74	40	68	44	64	27
立教大	39	20	31	17	38	23	37	24	42	23
早稲田大	144	68	96	60	87	46	121	72	87	45
その他	165	55	180	92	196	72	123	72	137	72
私立大計	718	312	707	363	671	335	684	393	625	329
総計	935	443	921	509	860	456	880	522	819	463

地方公立高校が躍進

本年度大学合格者

近年、土浦一高は、公立高校の中では東大合格者がトップクラスということで全国でも有名になってきているが、今年も過去5年間の平均である26名が合格し、そのうち現役が15名で、ともに例年に比べて若干少ない方である。国公立の中では、岡崎38名、浦和33名、宇都宮28名に次いで4位であるが、現役の合格率では浦和を凌いで3位である。各校と同じ

ように理Ⅲはいないが、国公立大医科はここ数年12ないし21名である。このところ、地方の公立高校が東大合格者を増やしている。筑波大も、地の利を得て、例年どおり全国一の合格者を出している。早稲田、慶応は、他の私立大に比べればかなり多いが、今年は一昨年並みで、少なめで

ある。依然として多いのは東京理科大の11名で、そのうち現役62名は卒業生319名の2割を占める。平成18年度から通学区が廃止され全県が学校区になったのでブランド力を高めようと努力されているようであるが、つくばエクスプレス開通の影響による県外流出も気になるところである。

篠田諺幹会長の近況



篠田諺幹 撮影提供
ケアセンターにおける
田会長 平成20.2.22
若山 宏氏(高13回)

語障害の克服を目指した生活を送っている。東進会及び諺幹会の会員として、完全な機能回復をお祈りし近況を紹介する。

編集後記

今回も東進会の会長以下多くの会員の皆様からお願いした原稿のほか多様な資料提供をいただき有り難うございます。

高山了様からの連載3回に及ぶネパール・トレッキング奮闘記は、予定どおり終了しました。単身赴任間の短い貴重な休日をつぶした力作であり、内容はもちろん写真とその説明を多用したレイアウトも楽しむことができました。本当にご苦労様と御礼申し上げます。

現在の土浦一高は、つくば研究学園都市の影響か東大ほか国公立大だけでなく早慶など著名な私立大への合格者が多く、有名校となっております。

東進会の会報「東進」も、これに恥じないものとなるよう、編集部門は60代以上の関係者一同が頑張っています。

会報の継続発行と内容充実には、会員の皆様からの支援・協力が不可欠であります。今後も従来同様よろしく願います。